よりよい港区づくりに貢献する

港新聞 MINATO SHIMBUN

第151号（再刊第68号）

発行　港新聞社（代表・飯田吉一）
〒552-0005 大阪市港区田中３-３-３
TEL06-6571-4636 FAX06-6571-4636
（毎月10～15日、港区全域に33,000部を戸別配布）

2012年３月15日（木）

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、共に考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

増え続ける生活保護人口

港区で４千人超、20年で３倍に

生活保護人口が増え続けています。全国的には昨夏から過去最多を更新中。全国一受給率が高い大阪市では昨春十五万人を突破。港区ではこの二十年で三倍近くに増え、昨年は保護人口四千人台、保護率五パーセント前後（全国平均の三倍超）で推移。大阪市や港区の貧困化が全国水準を大きく超えて進んでいることが分かります＝表1、2。主な原因は、①バブル崩壊後の企業リストラの蔓延②リーマンショック以降の不況の深止まり③東京一極集中と地方経済の衰退④これらを一層推し進めた規制緩和と自己責任の政治―です。かつてない貧困化の中、私たち区民はどう生きるかが問われています。

保護率は全国の３倍超

不況下、大半は我慢の末に

「生存権」掲げ、支援活動も

生活保護の受給申請が増え続ける港区保健福祉センターの窓口＝今年１月

◆失業者や母子家庭が

港区内でここ数年の間に生活保護を申請した人たちの事情を聴いてみました（これは本紙独自の情報入手によるもので、港区保健福祉センターからの情報提供によるものではありません）。

Ｍさん（三十代女性・母子家庭）はパートで仕事をしていましたが、小学生の子供の問題で休みがちになり、やむなく退職。収入は児童扶養手当と児童手当だけになりました。受けていた就学援助が学校徴収金だけに変わったため学用品も買えなくなり、家賃四万二千円も三カ月滞納。生活保護に抵抗はありましたが、「もう無理」と申請し、受理されました。その後、子供の問題で保健師や児童相談所に相談して診断を受けたところ、発達障害と判り、現在は子供を通院させながら生活しています。

Ｈさん（五十代男性・単身）は建築関係の日雇いの仕事をしていましたが、二〇一〇年秋頃から仕事がなくなり、友人からの借金などで食い繋いでいました。家賃は滞納、ガスは止めてもらい、電気は滞納で止まり、国保も滞納で短期証になり、膝の持病の悪化に医者にもかかれない状態でした。ようやく月に四日ほど仕事があって一カ月分の家賃三万円弱を払いましたが、「もう限界」と生活保護を申請し、受理されました。

Ｋさん（六十代夫婦）は夫が心筋梗塞で入院し、勤め先を退職しました。夫の年金は月約四万円。高血圧の持病を持つ妻の給料は月約六万円。マンションのローンが払えなくなり、弁護士に相談。自己破産の手続きを始めた上で生活保護を申請しました。受理されたかどうかは不明ですが、夫は現在も心筋梗塞で通院を続けています。

Ｉさん（四十代男性・単身）は二十代から同じ会社で清掃の仕事を続けてきました。十五年前までは月二十～三十万円の収入がありましたが、次第に仕事が減り、今では日給七千円で月七万円ほど。家賃は二万二千円。国保料を滞納し、国民年金保険料も免除申請。両親や兄弟が生活保護を受けているため身内からの援助も望めず、手持ち金三千円、貯金三百六十円になった時点で生活保護を申請し、受理されました。現在も清掃の仕事を続けながら、仕事がない日は職安で別の仕事を探しています。

Ａさん（六十代男性・妻と障害のある息子を扶養）は印刷関連の仕事を二十数年続けてきましたが、不況で仕事が減り続け、受注しても採算の合わない仕事が多く、数年前からは経費が売上を上回るようになりました。手伝ってくれていた息子は障害認定がないまま外へ働きにも出られず、妻の内職収入も僅かで、生活は次第に困窮。思い余って生活保護を申請しました。「別の仕事を探した方がよいのでは」という窓口に、「仕事には誇りを持っています。真面目に働いている事は見つかっていません。

現在は整形外科に通院しながら職安に通っていますが、年齢と無資格のため仕事は見つかっていません。

【２面につづく】

＜表１＞
港区の生活保護の状況
（2011年の月別変化）

月	被保護人員	保護率
1月	４１８２人	5.02%
2月	４１８９人	4.94%
3月	４２１８人	4.98%
4月	４２０６人	4.97%
5月	４２２２人	5.00%
6月	４２１２人	4.99%
7月	４２３７人	5.01%
8月	４２３６人	5.02%
9月	４２５９人	5.05%
10月	４２６３人	5.06%
11月	４２０４人	5.00%
12月	４２２４人	5.02%

※港区保健福祉センター提供

本紙の存続へ カンパの訴え

継続的なご支援に感謝致します。昨春以来延べ約50団体・個人からカンパがありました。その他、広告掲載、情報提供、建設的投稿など物心両面の無数の激励は、本紙紙面と併せて必ずや港区の歴史に刻まれると信じます。庶民の真実を発信する地域紙の存続へ、引き続くご支援を訴えます。

振込先：近畿大阪銀行九条支店（普）１４２３５９３港新聞

次号は４月10～15日戸別配布

港新聞は港図書館、港区民センター、港区老人福祉センター、弁天町市民学習センター、コンビニ、銭湯、ひまわり、港近隣センター等にも設置しています。

紙資源節約と環境保全のため名前のないポストには配布していません。ご了承下さい。

石綿の不安がある人は継続的に 肺癌検診 結核健診
3月23日(金)PM2:30～4:00 結核健診
港区保健福祉センターで
＜無料・予約不要・15歳以上・胸部X線間接撮影＞
※異常が見つかるとは限りません※日頃から医師に相談を
詳しくは☎6576-9882港区保健福祉センターへ

あさやけ

「なんや息苦しゅうなってきたわ」とはある町会長の弁。「大阪に住んでんのが嫌になってきた」とも。もちろん橋下市長誕生後の話です▼彼は我が母校の後輩でもあり、余り悪く言いたくはないのですが、あの速射砲みたいな〝改革〟が一体誰の為かが問題です。貫かれているのは結局、①財界への卑屈なまでの奉仕②そのため競争と脅しで市民や職員を動かそうという庶民蔑視③そうした実績で名を残そうという利己主義―つまり旧来政治の徹底版です▼中でも②は超合金並みの硬度。確かに人間はアホな所もありますが、世の為なら命も投げ出す気高い面も併せ持っています。そこに狙いを定めて政策を立てたらどれだけ心豊かな社会になるでしょう▼庶民に「息苦しい」などと感じさせる施政は地震・津波・原発事故より有害です。①庶民に奉仕②人の善意を促進③謙虚で利他的な姿勢―への根本転換こそ「維新」の名に相応しいと思うのですが、どうでっしゃろ。

今のうち聴いておこう親の歴史！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
母は東北から上京し、女工を経て劇団女優になり、そこの男優と結ばれ私を生んだ後、２人で新劇団を旗揚げ。しかし夫の重なる浮気で離婚し、大阪へ出て女手一つで私を育ててくれました。そんな半生記を読み、改めて母に感謝しています。（40代女性、総料金5万円）
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
★文書全般の代筆も承ります★
港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

努力すれば報われる！
中学生はグループ+個別！
●5教科（英・数・国・理・社）+副教科
●3時間×3回/週〈試験中40H超補講〉
●18000円/月（3年生20000円）
生徒募集
3月末までの申込者は入塾金を免除
小学生は英・算・国に集中！
●英語は中学教科書で高校受験対応
●［宿題30分+授業90分］×3回/週
●10000円/月〈曜日は各自で選択〉
中学生向け4大対策！
①教科書を使って予習は超ばっちり！
②学校への提出物もきっちり指導！
③定期試験1週間前から補講40H超！
④副教科も軽視せずにしっかり指導！
★もちろん入試は春・夏・冬期講習で万全サポート！
高校合格者の声
分からない問題があっても、理解できるまで何度も丁寧に説明して頂き、とても楽しく勉強できました。〈港南中→桃山学院　杉永大地〉
小学３年生で入塾し、勉強が嫌になった時も塾長にその大切さを教えられ、励まされて合格しました。〈市岡中→大阪成蹊女子　嶋本みな〉
エフォート学院
弁天3-14-8（西村ビル4F）
☎6572-8009（17～22時受付）
至朝潮橋　ドンキホーテ　中央大通　ライフ　至弁天町
■港区で27年の実績■少人数丁寧指導
■無料体験入学OK■入塾金10,000円
■定期試験中の補講（40時間超）は無料
■入塾テストはなし■面談の方は要予約

レンタカー
ekワゴン&フィット
3時間1900円 12時間2500円
24時間3500円 ＜免責保証料1050円別途＞
ミニレンタル
15分200円+（走行距離×20円）
※ガソリン代込（平日8～18時）
★軽トラック・箱バンもラインアップ★
会員制〔登録無料〕
カーシェア タニムラ
http://carshartanimura.is-mine.net/
弁天4-10-26 ☎6571-2355 受付:平日8:30～18:00